

群馬県妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク協議会 次第

日時：令和8年3月16日（月）19:00～20:00

開催方法：オンライン

1 開会

2 挨拶

3 委員紹介

4 協議事項

- (1) 群馬県妊産婦支援連絡票について（資料1）
- (2) 妊産婦の診療可能な精神科アンケートについて（資料2）

5 報告事項

- (1) 啓発資料「妊産婦のメンタルヘルスに関する専門職向け相談窓口の設置について」
（資料3）
- (2) 令和8年度妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業
拠点事業（拠点病院）（資料4）
- (3) その他

6 今後のスケジュール

- 令和8年4月～ 相談窓口の設置
- 令和8年6月～ 地域連絡会議の実施
- 令和8年9月 令和8年度第1回協議会

第2回群馬県妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク協議会 出席者名簿

【委員】

No.	所 属	職 種	氏 名	3/16(月) 19:00~20:00 オンライン
1	群馬大学医学部附属病院精神科神経科(教授)	精神科医	神出 誠一郎	○
2	群馬大学医学部附属病院産科婦人科(教授)	産婦人科医	岩瀬 明	○
3	群馬県医師会(理事)	小児科医	今泉 友一	○
4	群馬県医師会(理事)	精神科医	服部 徳昭	○
5	群馬県医師会(理事)	産婦人科医	佐藤 雄一	○
6	群馬県精神神経科診療所協会(会長)	精神科医	黒崎 成男	○
7	群馬県産婦人科医会(会長)	産婦人科医	永山 雅之	○
8	日本精神科病院協会群馬県支部(支部長)	精神科医	服部 真弓	○
9	群馬大学医学部附属病院精神科神経科	精神科医	高橋 由美子	○
10	群馬大学医学部附属病院周産母子センター(助教)	産婦人科医	日下田 大輔	○
11	前橋赤十字病院産婦人科(副部長)	産婦人科医	井上 真紀	○
12	群馬大学大学院保健学研究科(教授)	助産師・保健師	新井 陽子	○
13	群馬大学医学部附属病院母性看護外来	助産師 (母性看護専門看護師)	島名 梨沙	○
14	群馬県精神保健福祉士会(会長)	精神保健福祉士	加藤木 啓充	○
15	前橋市こども支援課(課長補佐)	保健師	千葉 都	○
16	高崎市保健医療部健康課(係長)	保健師	金田 節子	○
17	沼田市健康福祉部健康課(係長)	保健師	宇敷 佐和子	○
18	館林市健康こども部健康推進課(係長)	保健師	大谷 直子	○
19	伊勢崎保健福祉事務所	保健所長(医監)	高木 剛	○
20	こころの健康センター	所長	佐藤 浩司	中林次長 代理出席

【事務局】

1	児童福祉課	課長	野村 孝昭	○
2		室長	鳥塚 里香	○
3		係長	西 優也	○
4		副主幹	横堀 裕子	○
5	医務課	係長	林 利幸	○
6		主事	船戸 啓太	○
7	障害政策課	係長	大山 要二	
8		主任	新島 怜子	

第2回群馬県妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク協議会

群馬県妊産婦支援連絡票について



群馬県生活こども部児童福祉課
母子保健・障害児支援室
母子保健係

妊産婦支援連絡票の目的

目的：特に支援を必要とする妊産婦に対し、医療機関と市町村等の関係機関が連携し、早期から支援を行い、母児の健全な育成を図ること。

医療機関と市町村が
情報共有する手段のひとつ

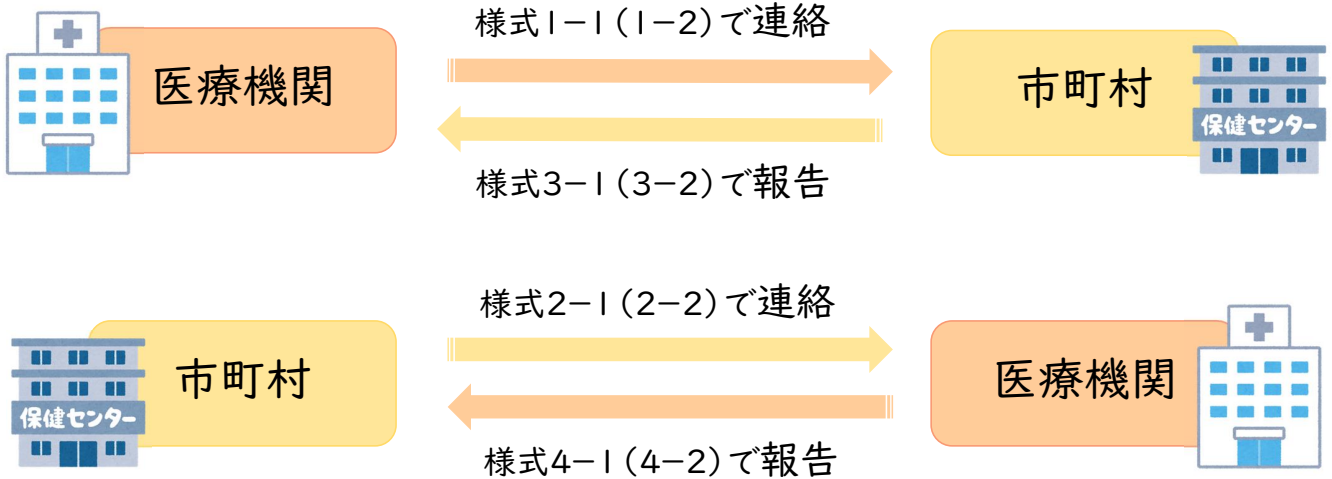
連絡票の活用が想定される妊産婦の例

- 精神科疾患（産後うつ等）により病状が不安定である
- 経済的な問題がある
- 夫や身内の支援が受けられない など



妊産婦支援連絡票の活用方法

* 様式は8種類。いずれも () 内は対象者が産婦の場合。



様式 1 - 1 医療機関→市町村 (妊婦)

〔様式 1 - 1〕

(医療機関→市町村)

() 市町村
母子保健主管課長 様

年 月 日

医療機関名 _____
 主治医名 _____
 担当者名(職種) () _____
 電話番号 _____

群馬県妊産婦支援連絡票〔妊娠中〕

■この連絡に関し、本人の同意を 得ています 得ていません(理由: _____)

■市町村からの報告書は、 必要 (※電話連絡の場合: 担当者名 _____) 不要

ふりがな 妊婦氏名	生年月日 (年齢)	年 月 日生 () 歳	職 業	有() 無
ふりがな 夫の氏名	生年月日 (年齢)	年 月 日生 () 歳	職 業	有() 無
現住所等 (実際の居住地)	電話(自宅・実家・LINE電話のみ): _____ 携帯電話(本人・夫・その他): _____			
分娩歴	初産・経産(第 子)	既往歴		
今回の 妊娠の 経過	健診機関: 当院 ・ 他院 () 初回受診日及び週数: 年 月 日 (妊娠 週) 妊婦健診の受診の有無: 無 ・ 有 () 回: 妊娠中の異常の有無: 無 ・ 有 () その他特記事項: _____			
出産予定日	年 月 日			
里帰り等	里帰り出産の予定: 有・無 (里帰り先の住所・連絡先: _____)			

様式 1 - 1 医療機関→市町村 (妊婦)

資料 1

情報提供の 目的及び 依頼事項 ※当てはまる ところにチ ック	1. 妊婦の状態 <input type="checkbox"/> 妊婦健診の未受診・受診回数が極端に少ない <input type="checkbox"/> 精神疾患(既往含)により不安定 <input type="checkbox"/> 心身の体調不良(元気がない等含む) <input type="checkbox"/> 妊婦自身の生活能力が低い <input type="checkbox"/> 予期しない妊娠である
	2. 育児行動 <input type="checkbox"/> 育児に対する不安が強い <input type="checkbox"/> 育児能力・知識・態度に心配な点がある <input type="checkbox"/> 上の子に虐待歴がある <input type="checkbox"/> 子どもをかわいと思えない等、子どもに対する言動に心配な点がある
	3. 養育環境の問題 <input type="checkbox"/> 経済的な問題がある <input type="checkbox"/> 夫婦不和 <input type="checkbox"/> 夫や身内の支援が受けられない
医療機関 における 指導事項	市町村への依頼事項 _____ _____ _____ _____

(次の受診予定: 年 月 日)

様式 3 - 1 市町村→医療機関 (妊婦)

資料 1

[様式 3 - 1]

(市町村→医療機関)

年 月 日

(主治医)

_____ 様

市町村名 _____
 担当課等 _____
 担当保健師名 _____
 電話番号 _____

群馬県妊産婦支援報告書〔妊娠中〕

貴院よりご連絡いただいた方について、以下のとおり報告します。

■この報告に関し、本人の同意を 得ています 得ていません(理由: _____)

ふりがな	生年月日	年 月 日生
妊婦氏名	(年齢)	()歳
住所等	電話(本人・夫・その他): _____	
対応年月日	年 月 日/家庭訪問・来所面接・その他 ()	
(連絡票による依頼事項)		

対応時の状況	妊婦の状況	
養育環境等	(経済状況・家族状況等)	
市町村の支援内容		
今後の方針	・継続支援（方法：家庭訪問・電話連絡・乳幼児健診での確認・その他（ ）） ・終了	

連絡票の活用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
連絡票を活用している市町村		29市町村	30市町村	31市町村
連絡票を活用した医療機関からの支援依頼の件数	県書式	280件	488件	457件
	県書式以外	332件	164件	120件
	その他	30件	26件	4件
市町村で既にハイリスクとして把握していた件数		215件	353件	307件
依頼対象の状態	妊娠中	56件	64件	62件
	出産後	587件	614件	519件
情報提供についての同意が得られていた件数		535件	636件	529件
(参考)妊娠届出数		11,116件	10,416件	10,311件

計581件

支援対象者の約1割が妊婦
約9割が産婦

出典：令和6年度妊産婦支援連絡票活用状況等調査、母子保健事業報告

妊産婦連絡票の掲載先

- 県のホームページに、様式を掲載しています。

<https://www.pref.gunma.jp/page/615048.html>

【連絡先】

群馬県 生活こども部 児童福祉課
母子保健・障害児支援室母子保健係
☎ 027-226-2606



妊産婦の診療可能な精神科医療機関アンケートについて

1 対象医療機関

県ホームページに掲載されている以下の医療機関

- ・精神科病院 20 医療機関
- ・精神科・心療内科を標榜する病院（外来診療のみの病院）23 医療機関（新規休止等を除く）
- ・精神科・心療内科を標榜する診療所 88 医療機関

2 調査期間

令和 8 年 4 月～ 6 月

3 調査方法

事務局より各医療機関へアンケート案内（MicrosoftForms 二次元コード付き）を郵送

※ 日本精神科病院協会群馬県支部、群馬県精神神経科診療所協会へ、事前に通知する。

4 調査結果の公表範囲

妊産婦メンタルヘルス支援コーディネーター ※一般公開はなし

5 アンケート項目案

【群馬県妊産婦の診療可能な精神科医療機関アンケート】

- ・市町村名、医療機関名
- ・郵便番号、所在地、電話番号
- ・妊婦診療の受入（可・不可）
- ・産婦診療の受入（可・不可）
- ・初診予約方法（予約制（予約方法：電話、インターネット、その他）・予約制ではない）
- ・初診までの待ち日数（自由記載）
- ・精神保健福祉士の配置（有・無）
- ・心理職の配置（有・無）
- ・対応困難な病状（自由記載）

群馬県妊産婦の診療可能な精神科医療機関アンケート項目（案）

No.	市町村名	医療機関名	郵便番号	所在地	電話番号	妊婦の受入	産婦の受入	初診予約方法	初診までの待ち日数	精神保健福祉士の配置	心理職の配置	対応困難な病状
1	前橋市	〇〇病院	371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-220-2606	可	可	予約制・電話	1～2週間以内	有	有	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												

6 事例

(1) 宮城県

妊産婦のメンタルヘルスケアに係る精神科・心療内科機関へのアンケート（一般公開なし）

No	医療機関名	郵便番号	所在地	電話番号	妊産婦診療 の受入れ	初診予約方法	精神保健福 祉士の配置	臨床心理士 の配置
1					可能	予約制 電話	無	無
2					可能	予約制 電話	有	有
3					可能	予約制 電話	有	有
4					可能	予約制 電話	無	無
5					可能	予約制ではない	有	無
6					可能	予約制ではない	有	有
7					可能	予約制 電話	無	有
8					H31.9 可能	予約制 電話	有	有
9					可能	予約制 <small>電話通話専用 装置を通じて</small>	有	有
10					可能	予約制ではない	有	無
11					可能	予約制 電話	有	有
12					可能	予約制ではない	無	無
13					可能	予約制 <small>電話 インターネット</small>	無	無
14					可能	予約制 電話	無	無
15					可能	予約制 電話	無	無
16					可能	予約制 電話	無	無
17					可能	予約制	無	有
18					可能	予約制 電話	無	無
19					可能	予約制ではない	有	無
20					可能	予約制 電話	無	無
21					可能	予約制 電話	無	無

(2) 千葉県

妊産婦の診療が可能な精神科医療機関アンケート (一般公開あり)

ママのメンタルケアネットワークからは、連携マップに公開する精神科施設一覧 (2019年9月1日現在)

No	自治体	協力医療機関名	協力医師名	〒	住所	電話	ホームページ	お問い合わせ時間・時間帯	診療対応できる曜日	初診までの待ち日数	対応できる連携エリア	特色	対応困難な病状
①	市川市	メンタルヘルスマネジメント支援センター	藤井 和生	272-0824	市川市豊野5丁目11-16	047-317-1055	http://www.chichikawa.jp/medical/h/00339.html	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
②		きたらな駅上まごクリニック	松本 悠	274-0063	船橋市習志野台1-1 エキナビル3F	047-401-1707	http://www.hihiro-clinic.jp/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
③		北林病院分院	大塚 佳子	273-0005	船橋市本町6-4-28 竹内ビル6F	047-424-0287	http://www.kitabayashi.or.jp/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
④		佐田病院	井村 有子	272-0021	船橋市港神4-1-14	047-431-0034	http://www.sata.or.jp/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑤		サンメディカル船橋クリニック	北林 香織	273-0005	船橋市本町7-5-14 カーサエリーチェ1F	047-422-3300	https://sunmedikal-clinic.com/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑥	松戸市	たけだメンタルクリニック	飯田 直己	271-0091	松戸市本町14-18-シオビル3F	047-385-8800 (予約専用)	https://www.takedamental-clinic.com	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑦	佐倉市	志津クリニック	志津 雄一郎	285-0846	佐倉市上志津1689-201	043-462-5622 (受付専用)	https://shizu-clinic.jp/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑧	印西市	めぐみこころのクリニック	朴 恵菜	270-1335	印西市 原一ツツノビル1階	0476-37-7522	http://megumi-ccocoro-clinic.com	外来診療中の時間帯 平日 日中	水、日以外	1週間以内、緊急の場合は対 応可 応可	印西市、印旛郡、白井市等 印旛保健所管内全郡、香 取保健所管内の一部	① 体念室に個室仕様のスペースがあります。 ② 近くの訪問看護ステーションに相談できます。 妊婦も入浴可能です。高齢女性医師が6名在籍 しています。	パーソナリティ障害
⑨	船橋市	船橋市十字病院精神科	斎賀 孝久・小池 香	286-8523	船橋市船橋100-1	0476-22-2311	https://www1.odn.ne.jp/~c062080/nd/ax.html	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑩	四街道市	西街道メンタルクリニック	永井 博達	284-0044	四街道市和泉245-9 中島ビル2F	043-433-2231	https://www1.odn.ne.jp/~c062080/nd/ax.html	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑪		びあこ健クリニック	藤原 史代	261-0011	千葉市 美浜区真砂4丁目10-2ア3 千葉市花見川区花見1-18 クリニック 千葉市花見川区花見2-1-10 クリニック	043-270-5430 043-213-3777	http://www.shikoku-clinic.jp/	月水 10:00~15:00 火金 13:00~18:00 土 10:00~13:00 月から土 9:30~13:00、15:00~ 18:00(火水 20:00まで)	夜間(予約が必要です)	1~2週間(お急ぎの方はご 相談ください)	遠郊可能な方 遠郊可能な範囲なら可	院長(女性)のみの診療となります。 身障者等向けのトイレあり、訪問看護可能	入院治療が必要な 場合
⑫		新緑里川メンタルクリニック	佐々 敬	262-0025	千葉市中央区東千葉1丁目1-8	043-287-6156	http://www.shikoku-clinic.jp/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑬		日下病院	日下 忠文	260-0041	千葉市中央区今井1-4-7新井ビル3F	043-305-2007	http://www.dsjin-psyj.org/	月水水金 8:45~17:00、土 8: 30~16:00	初診は月、金14:00 (再診は他 の曜日も可能)	1~2週間以内	千葉市内及び近郊市		
⑭		そが園クリニック	古田 多美美	260-0834	千葉市中央区東千葉1丁目21	043-222-0789 (予約専用)	http://www.soga-clinic.jp/	月~土曜日 13:00~16:00	月曜日~金曜日	1~2週間以内、緊急可の常 入院治療は当日対応			
⑮	千葉市	宇治食水村病院	原田 清代・木村 大・渡辺 博幸・平田 聖典・市 尚喜	260-0004	千葉市中央区東本町6-19	043-222-0789 (予約専用)	http://sakujaku.kinura/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑯		いいのメンタルクリニック豊田	岩崎 弘一	266-0005	千葉市緑区豊田2丁目2307-161	043-212-2586	http://www.yashino-mental.jp/idx.html	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑰		緑こころのクリニック	川上 秀夫	266-0031	千葉市緑区おかもと町4-10 豊栄ビル10F 4号室	043-497-5877	http://www.midorikokoro.com/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				
⑱	市原市	市原メンタルクリニック	高次 正昭	290-0054	市原市五井中央東1-16-12	0438-24-5300	http://shiyori-haiji.ichimental/	日・水、夜間急、9AMから5PM	当日対応可		市原保健所管内 入院治療あり	当院インターネット予約可(初診時不可) 連携 薬物療法精神疾患 は不可	
⑲	袖ヶ浦市	袖ヶ浦さつ台病院	新沼 康一	299-0246	袖ヶ浦市長瀬駅前5丁目21	0438-82-1113	http://www.satsukai-hor.or.jp/	ホームページをご参照ください	ホームページをご参照ください				

*ご利用いただく皆様へ
この表の情報は、2019年9月1日現在のものです。諸般の事情により変更される可能性がありますので、ご利用につきましては、必ず当該の医療機関にご確認してから受診手続き・受診動向をお願い致します。

妊産婦のメンタルヘルスに関する専門職向け相談窓口の設置について

妊産婦のメンタルヘルス支援の充実のため、県では「妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業」を実施しております。

令和8年度より、群馬大学医学部附属病院（母性看護外来・大学院保健学研究科）に委託し、「妊産婦のメンタルヘルスに関する専門職向け相談窓口」を設置いたします。妊産婦のメンタルヘルス支援について、お困りのことがございましたら、御相談ください。

～妊産婦のメンタルヘルスに関する専門職向け相談窓口～

開始時期	令和8年4月から
対象者	産婦人科・精神科等医療機関、市町村・保健福祉事務所 ※県民向け窓口でないため、患者対応は行いません。
実施内容	相談に対するコンサルテーション *各施設への助言 *EPDSの項目10に加点がつく場合の対応等
相談員	妊産婦メンタルヘルス支援コーディネーター *群馬大学医学部附属病院（母性看護外来）助産師及び 大学院保健学研究科の教員が対応いたします。
相談日時	月～金 10:00～15:00 ※土日・祝日、年末年始を除く
相談方法	電話：027-220-8985 メール：gunma.pmh@gmail.com

■地域連絡会議について

「妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業」では、支援が必要な妊産婦を把握した場合に、妊産婦のメンタルヘルスケアに携わる関係者により、症例の共有・相談等を行う「症例検討」を定期的に行うこととされています。

医療機関-市町村連携において、地域の課題や症例について検討するため、市町村・各医療機関、妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク協議会委員等を構成員とする地域連絡会議を設置します。

各関係機関におかれましては、妊産婦メンタルヘルス支援コーディネーター事務局等から地域連絡会議の参加依頼があった際は、御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



令和8年度妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業 拠点事業（拠点病院）

1 概要

(1) 目的

市町村が実施する母子保健事業について、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない体制を整備するため、妊産婦のメンタルヘルス対策の充実に向けて、広域支援する。

事業の内容・実施体制

(2) 拠点事業の内容

群馬大学医学部附属病院に母性看護に特化したコーディネーターを配置して相談窓口を開設するとともに、地域の保健師等が妊産婦のメンタルヘルスに対応できるよう、症例検討会、人材の育成のため研修会を行う。

2 地域連絡会議について

- ・開始時期：令和8年6月頃から実施（2か月に1回程度）
- ・開催者：群馬大学医学部附属病院（母性看護外来・大学院保健学研究科）
- ・参加者：市町村・医療機関、協議会委員、県等
- ・内容：医療機関-市町村連携において、地域の課題や症例について検討する。

3 研修計画について

- ・実施予定：年2回
- ・開催者：群馬大学医学部附属病院（母性看護外来・大学院保健学研究科）
- ・対象者：保健師、助産師、看護師等
- ・定員：50名（25名×2回）

【対面研修】講師は、令和7年度と同様の予定

	実施日	テーマ	講師（敬称略）
第1回	上半期	(1) EPDSで9点以上の母親への面接と支援	東京科学大学 竹内 崇
	対面	(2) 家族面接とその支援	群馬大学大学院 新井 陽子
	上半期	(3) 問題解決技法を使った母親への支援	自治医科大学埼玉医療センター 岡島 美朗
	対面	(4) ベリネイタルロスの支援	文京学院大学 久登本 奈緒美
	上半期	(5) 出産体験とその支援	群馬大学大学院 國清 恭子
	対面	(6) 事例検討	済生会横浜市東部病院 相川 祐里

※第2回は、下半期に同様のプログラムで実施予定

【オンデマンド研修】令和7年度のオンデマンド研修動画を継続し活用

No.	内容	所属	氏名 (敬称略)
1	群馬県妊産婦のメンタルヘルスに関するネットワーク構築事業の概要	群馬大学大学院医学系研究科	神出誠一郎
2	精神疾患合併妊娠と周産期のメンタルヘルス	群馬大学大学院医学系研究科	神出誠一郎
3	メンタル不調のある妊産婦のセルフケアのアセスメント	神戸女子大学	玉木敦子
4	精神薬物療法と母乳支援	東北大学	菊地紗耶
5	周産期からのメンタルヘルスケア-保健・医療・福祉の連携による予防的支援-	済生会横浜市東部病院	相川祐里
6	群馬県の母子保健施策について	群馬県児童福祉課	横堀裕子
7	神経発達症(発達障害)の理解と親への支援	利根中央病院	藤平和吉
8	3つの質問紙の使い方	群馬大学大学院保健学研究科	新井陽子
9	虐待傾向のある母親の理解と支援	神奈川大学	麻生典子
10	産後うつ当事者の体験		宮崎弘美
11	産後うつ予防的支援~両親学級を使った正しい情報提供~	群馬大学大学院保健学研究科	新井陽子
12	妊産婦の自殺とその支援	聖路加看護大学大学院	小山達也
13	(仮)小児期逆境体験と周産期のメンタルヘルス	城西国際大学	大橋優紀子
14	父親支援と親子支援	成育医療センター	竹原健司
15	ボンディング障害と虐待	高崎総合医療センター	溝口史剛
16	メンタルヘルスに関わるスタッフのセルフケア~より良い支援をするために~	国立病院機構 肥前精神医療センター	堀井麻千子
17	群馬県における精神保健相談窓口	群馬県こころの健康センター	中林千晶
18	群馬大学医学部附属病院における母性看護外来での看護実践	群馬大学大学院	深澤友子
19	産婦人科一次施設におけるメンタルケアの可能性	佐藤病院	今村禎子
20	群馬県立小児医療センターにおける母子分離を余儀なくしているご両親への支援	群馬県小児医療センターNICU	外丸恵利
21	産後ケアにおける周産期メンタルヘルスケア	東京医療学院大学	桑原さやか
22	玉村町における母子保健の取り組み	玉村町	奈良 真弓 久保 桜蘭
23	嬭恋村における母子保健の取り組み	嬭恋村	野寺 美枝

※オンデマンド研修は、対面研修を受講した方に視聴いただきます。

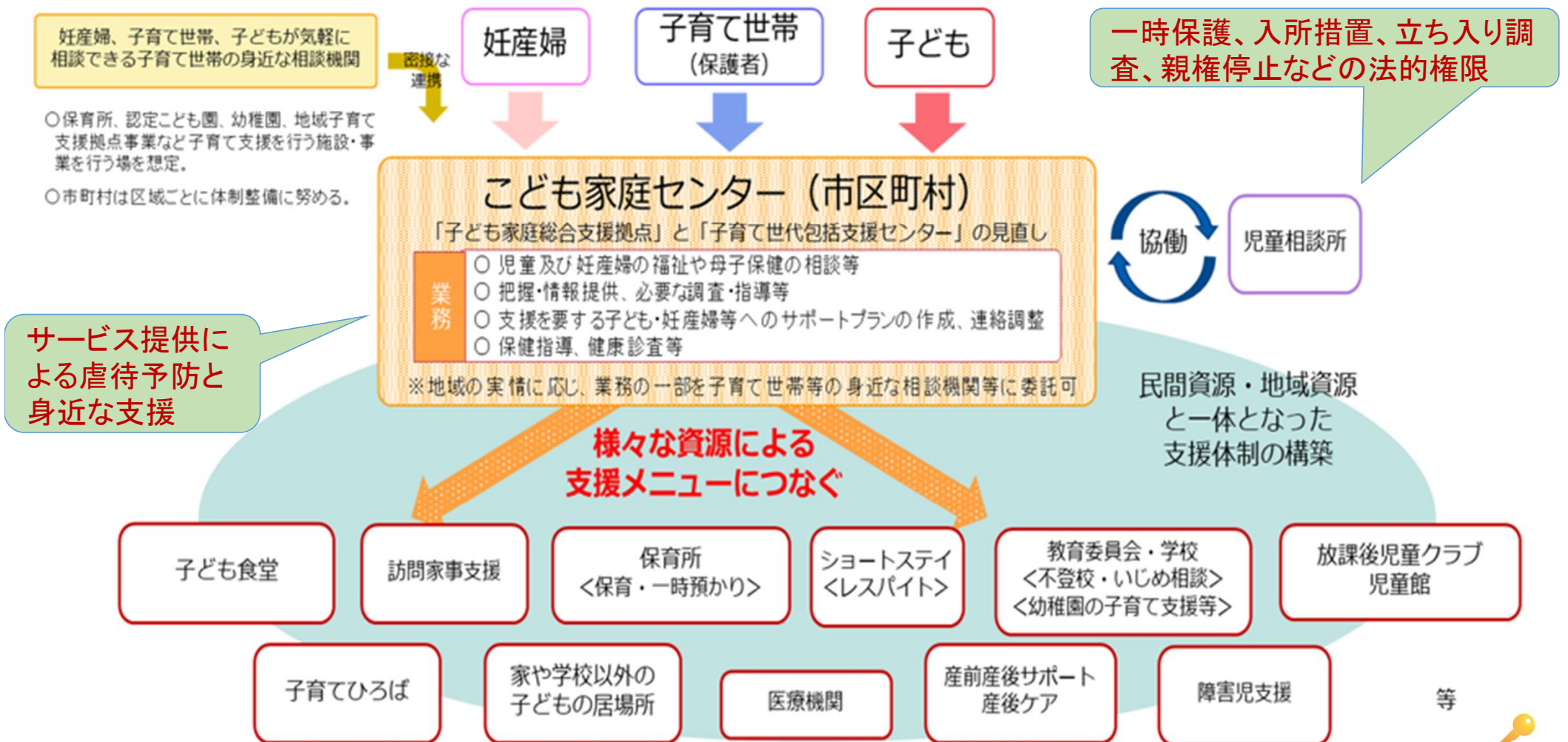
※No.1~12は事前視聴動画、No.13~23は任意視聴動画です。

※追加内容も検討しています。

こども家庭センター

母子保健・児童福祉相談支援機能の一体化

- ・ 子育て家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの「連携」からより一歩前へ。
- ・ こども家庭センターとして、地域の関係主体とつながりながら、サポートプランの作成や勧奨・措置を使いながら子育て家庭をマネジメント。



群馬県妊産婦メンタルヘルス研修会報告書（簡易版）

開催日と参加者

- ① 1月31日(土) 49名
- ② 2月14日(土) 46名
- ③ 3月15日(日) 47名

講師（対面研修及びオンデマンド研修）

一覧表参照

研修の感想（要約）

- 本研修は、周産期メンタルヘルスに関する知識や支援技術を学ぶ貴重な機会となり、多くの参加者が実践への自信や理解の深まりを感じていた。特に講義だけでなく、グループワークやロールプレイを通して具体的な支援場面を想定しながら学ぶことができ、理解が深まり実践に活かせる研修であったとの意見が多くみられた。
- また、助産師、保健師、医師など多職種・他施設の参加者との意見交換や情報共有を通して、新たな視点や地域での支援体制を知ることができ、視野が広がったという声が多かった。顔の見える関係が築けたことで、今後の連携や地域ネットワークの強化につながる意義も感じられていた。
- さらに、周産期メンタルヘルス支援に対する不安や苦手意識が軽減され、今後の実践に活かしたいという前向きな意見も多く、研修を通して自己の実践を振り返る機会となったと評価されていた。全体として、本研修は学びが多く、有意義で実践に役立つ研修であったとの感想が多数を占めていた。

研修後に実践で変えたこと・今後変えたいこと

- 本研修を通して、多くの参加者が傾聴・共感を基盤とした支援の重要性を再認識し、支援姿勢の見直しや支援方法の改善を意識するようになった。特に、対象者の話を否定せず受け止め、主観的な解釈を控えながら気持ちや背景を理解しようとする姿勢を大切にするようになったという意見が多くみられた。また、時間をかけて話を聴き、答えを急がない支援を意識するようになったとの声もあった。
- 支援方法としては、問題解決技法（Problem Solving）・SMART を用いた支援を実践または今後活用したいという意見が多く、対象者自身が解決策を見出せるよう支援することの重要性が認識されていた。実際に問題解決療法を用いた支援により対象者の不安が軽減し、自己解決への自信につながった事例も報告されている。
- また、EPDS の積極的活用、出産体験の振り返り、グリーンケアなど周産期特有のメンタルヘルス支援を強化したいという意見も多く、流産・死産後の支援として保健師面談を導入するなど、支援体制の改善につながった取り組みも見られた。
- さらに、支援の視点として、母親だけでなく父親や家族を含めた家族支援、多職種連携の強化、地域との連携を重視する意識の高まりも示された。対象者の背景や生活環境を多角的に理解し、継続的な支援を行うことの必要性が認識されていた。
- 加えて、自身の支援の癖や価値観を振り返り、固定観念にとらわれない支援、自己研鑽（文献学習など）の継続を意識するようになったという意見も多く、研修を通して専門職としての自己省察が促進されていた。

No.	内容	講義方法	所属	氏名	職種
1	EPDSで9点以上の母親への面接と支援（演習・対面）	対面・演習	東京科学大学	竹内崇	精神科医
2	家族面接とその支援（演習・対面）	対面・演習	群馬大学大学院	新井陽子	助産師
3	問題解決技法を使った母親への支援（演習・対面）	対面・演習	自治医科大学	岡島美朗	精神科医
4	ペリネイタルロスの支援（演習・対面）	対面・演習	文京学院大学	久登本奈緒美	助産師・母性CNS
5	出産体験とその支援（演習・対面）	対面・演習	群馬大学大学院	國清恭子	助産師
6	事例検討会	対面・演習	済生会横浜市東部病院	相川祐里	心理師・助産師

No.	内容	講義方法	所属	氏名	職種
1	群馬県における周産期ネットワーク構築事業について	オンデマンド	群馬大学大学院医学系研究科	神出誠一郎	精神科医
2	精神疾患合併妊娠と周産期のメンタルヘルス	オンデマンド	群馬大学大学院医学系研究科	神出誠一郎	精神科医
3	精神疾患合併妊婦の日常生活のアセスメント	オンデマンド	神戸女子大学	玉木敦子	精神看護
4	精神疾患の薬物療法と母乳	オンデマンド	東北大学	菊地紗耶	精神科医
5	周産期からの子ども虐待予防 保健・医療・福祉の連携支援体制	オンデマンド	済生会横浜市東部病院	相川祐里	心理師・助産師
6	群馬県地域母子保健について	オンデマンド	群馬県生活こども部 児童福祉課	横堀裕子	保健師
7	発達障害の理解と親への支援	オンデマンド	利根中央病院	藤平和吉	精神科医・児童精神
8	3つの質問紙の使い方	オンデマンド	群馬大学大学院保健学研究科	新井陽子	助産師
9	虐待傾向のある母親の理解・支援	オンデマンド	神奈川大学	麻生典子	心理師・助産師
10	産後うつの体験	オンデマンド		宮崎弘美	心理師
11	産後うつの予防的支援～両親学級を使った正しい情報提供の仕方～	オンデマンド	群馬大学大学院保健学研究科	新井陽子	助産師
12	妊産婦の自殺とその支援	オンデマンド	聖路加看護大学大学院	小山達也	精神看護
13	小児期逆境体験と周産期のメンタルヘルス	オンデマンド	城西国際大学	大橋優紀子	小児看護
14	ボンディング障害と虐待	オンデマンド	高崎総合医療センター	溝口史剛	小児科医・心理士
15	父親への支援	オンデマンド	成育医療センター	竹原健司	研究者
16	群馬大学附属病院母性看護外来での実践	オンデマンド	群馬大学大学院	深澤友子	助産師・母性CNS
17	産後ケアにおけるメンタルヘルス支援	オンデマンド	東京医療学院大学	桑原さやか	助産師・母性CNS
18	クリニックにおける周産期メンタルヘルス支援	オンデマンド	佐藤病院	今村禎子	産科医/助産師・母性CNS
19	群馬県立小児医療センターにおける母子分離を余儀なくしている親への支援（仮）	オンデマンド	群馬県小児医療センターNICU	外丸恵利	看護師NICU看護師
20	群馬県心の健康センター相談/心の相談（精神保健福祉士、精神科医）のご案内（仮）	オンデマンド	群馬県こころの健康センター	中林千晶	保健師
21	玉村町における母子保健の取り組み	オンデマンド	玉村町	奈良 真弓久保 桜蘭	保健師
22	孺恋村における母子保健の取り組み	オンデマンド	孺恋村	野寺 美枝	保健師
23	メンタルヘルス支援に関わる人のメンタルヘルス（仮）	オンデマンド	国立病院機構 肥前精神医療センター	堀井麻千子	心理師